

授業科目	保育内容 表現				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21616J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	金谷 めぐみ							
授業概要	乳幼児の「表現」について解説すると共に、他の「領域」との関連から見た「表現」について解説する。また、保育者の「表現」に係わる知識・技能と、乳幼児の「表現」を導くための知識・技能について解説し演習を通して身につける。							
学生が達成すべき行動目標	子どもの表現に関する今日的状況について関心をもつ(DP3-1) 表現に関する保育を展開することができる(DP5-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	40	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10			10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					40	20	60	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				15			15	
技能・表現 (DP5-2)				15			15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの表現に関する今日的状況について、各種資料を収集・整理し他者に説明できる 表現に関する環境を通じた保育の展開ができることはもちろん、自らの保育の課題を分析し、進んで向上させようとする				子どもの表現に関する今日的状況について、各種資料を収集している 表現に関する環境を通じた保育の展開ができ、自らの保育の課題を挙げることができる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する			講義	予: 保育所保育指針の関連部分を読む		60	

2	領域「表現」 5領域の中での「表現」の位置づけについて解説する	講義	予：保育所保育指針の関連部分の確認 復：課題を提示する	30
3	乳幼児の表現 1 乳幼児の表現について解説し、表現を引き出す方法について検討させる	課題の確認 講義 グループワーク	復：課題を提示する	30
4	乳幼児の表現 2 乳幼児の表現を引き出すための、保育者としての表現の重要性について解説する	課題の確認 講義 グループワーク	復：自身の表現技法について振り返り、スキルアップのための練習をする	30
5	保育計画の立案 1 保育計画立案のために必要な基礎的知識について解説する	講義	復：乳幼児の発達について復習しておく	60
6	保育計画の立案 2 部分保育指導案の作成方法を解説する	演習	自身が行う模擬保育の指導案を作成する	90
7	模擬保育 1【発表 A グループ】 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予：自身の模擬保育の準備 復：自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
8	模擬保育 2【発表 B グループ】 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予：自身の模擬保育の準備 復：自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
9	模擬保育 3【発表 C グループ】 作成した指導案を基に、グループごとに環境を通した保育の展開を模擬的に経験する	演習	予：自身の模擬保育の準備 復：自身の模擬保育についての反省と課題の分析	120(自身の模擬保育に関して)
10	幼児の身体的表現① 幼児の身体的表現を中心とする表現活動について解説する。	演習	予：プレゼンテーションの準備 復：身体表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
11	幼児の身体的表現② 幼児の身体的表現に関するプレゼンテーションを行う	演習	復：自身のプレゼンテーションの反省と課題の分析	60(自身の発表に関して)
12	幼児の音楽的表現① 幼児の音楽的表現を中心とする表現活動について解説する	演習	予：プレゼンテーションの準備 復：音楽表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
13	幼児の音楽的表現② 幼児の音楽的表現に関するプレゼンテーションを行う	演習	復：自身のプレゼンテーションの反省と課題の分析	60(自身の発表に関して)
14	幼児の造形的表現① 幼児の造形的表現を中心とする表現活動について解説する	演習	予：プレゼンテーションの準備 復：造形表現の課題練習	60(自身の発表に関して)
15	幼児の造形的表現② 幼児の造形的表現に関するプレゼンテーションを行う	演習	復：自身のプレゼンテーションの反省と課題の分析	60(自身の発表に関して)
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	自身の表現の幅を広げるために、日常生活の中であらゆるもの興味・関心を持って関わるよう努めること			
テキスト	特になし その都度プリントを配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと			
達成度評価に関するコメント	レポート、発表(当日のプレゼンテーション)、その他(発表の準備)により評価する。			